

## 隠岐海区便り (Vol.75)

◎第318回(第21期第9回)隠岐海区漁業調整委員会を開催しましたので、概要をお知らせします。

出席委員：葛西、前田、佐々木、吉田、濱田、林、升谷、亀谷、福山委員

欠席委員：長府委員

開催日時：平成30年8月30日(金) 14:10~15:30

開催場所：隠岐郡隠岐の島町西町 JFしまね西郷支所3階会議室

### 議題

- (1) 定置漁業及び区画漁業の漁業権免許申請について(諮問)
- (2) 定置漁業の保護区域設定に係る委員会指示について(協議)
- (3) 太平洋くろまぐろの資源管理について(報告)
- (4) 隠岐支庁水産局長専決海面漁業の許可等の取扱方針の改正について(協議)
- (5) 平成31年度全漁調連(日本海ブロック会議)への要望事項について
- (6) その他

◎委員会での検討結果は次のとおりです。

#### (1) 定置漁業及び区画漁業の漁業権免許申請について(諮問)

前回、前々回の隠岐海区漁業調整委員会において「定置漁業権」、「区画漁業権」の免許内容等を事前決定しましたが、今回の隠岐海区漁業調整委員会では免許予定者の適格性と優先順位の審査を行いました。

審査の結果、この諮問について、異議無い旨答申をすることが決定されました。

#### (2) 定置漁業の保護区域設定に係る委員会指示について(協議)

定置漁業の保護区域設定の期間が8月で満了となるため、定置漁業の漁業権免許更新に併せて保護区域を設定したい旨の協議文が県よりありました。要望内容は現行と同様であり現行の保護区域について各漁協に聞き取りを行ったところ、大きなトラブルもありませんでした。

協議の結果、現行と同様の委員会指示を制定することになりました。

### (3) 太平洋くろまぐろの資源管理について（報告）

くろまぐろの資源管理について報告内容は以下の通りです。

- 大型魚の配分量が8.3トン追加され、15.3トンに変更。
- 小型魚の配分量が1.7トン上乗せされ、58.8トンに変更。
- 事前の申し出があれば小型魚から大型魚への漁獲枠の移し替えが可能。
- 県計画とガイドラインの配分数量を変更。

### (4) 隠岐支庁水産局長専決海面漁業の許可等の取扱方針の改正について（協議）

平成28年度から海士町で底建網漁業が試験操業されていましたが、水産業上有効な漁業種類であることが実証されたため、本漁業の許可取扱方針の新設を検討しました。

協議の結果、本漁業の許可取扱方針が新設されました。

### (5) 平成31年度全漁調連（日本海ブロック会議）への要望事項について

平成31年度全漁調連日本海ブロック会議への要望事項として、下記の通り要望しました。

- 新規要望としてクロマグロの資源管理に係る対策等の充実について。
- 継続要望として北朝鮮の弾道ミサイル発射等に対する漁業者の安全確保について。
- 継続要望として日韓漁業協定の実効確保と監視取締体制の充実強化について。

### (6) その他

トビウオの漁獲状況について水産局より説明がありました。

- 刺網・船曳網の漁獲量は右肩下がり。
- 漁獲量の減少は操業者数の減少によるところもあるので、一概に資源が減少しているとは言えない。